

2023/3/3

林野庁委託事業成果報告会

クリーンウッド法における木材等の合法性確認手引き：

リスクベースで考える木材のデュー・デリジェンス

クリーンウッド法における木材等の 合法性確認手引きの概要説明

公益財団法人 地球環境戦略研究機関
生物多様性と森林領域 主任研究員 鮫島弘光

手引き作成の目的

- 本手引きは2016年制定のクリーンウッド法に対応したもの
- クリーンウッド法では、事業者が木材等を利用する場合に合法伐採木材等を利用することを努力義務として定められるとともに、木材関連事業者の判断の基準となるべき事項として、合法性確認に関する事項が定められている
- 本委託事業では、事業者が木材の合法性確認をより円滑に行うための手引きを作成した

手引き概要

【はじめに／本手引きの目的】

【解説編】

- 違法伐採を取り巻く状況
- 合法性確認（デュー・デリジェンス）とは何か？
- リスクベースアプローチによる合法性確認を行うとなぜよいのか？

【実務編】

- 1、2章 合法性確認の全体像
- 3～6章 合法性確認の具体的な手順
(フローチャート・チェックリスト)

【解説編】

1. 違法伐採を取り巻く状況

● 違法伐採が引き起こす問題

- 森林の持つ多面的機能（国土の保全、水源涵養、気候変動緩和等）に負の影響を与える可能性
- 不当な価格競争力によって、林業・木材産業の健全な発展に支障をもたらす可能性

● 違法伐採対策の重要性の高まり

- 米国、EU、オーストラリア、韓国、中国等で違法伐採木材の取り扱いに対する法令等の整備が進んでいる
- 木材産業の振興や木材利用の推進について社会的な応援を得ていく上で、事業者が、取り扱う木材の合法性確認をしていることを示すことの重要性が増している

● 我が国のこれまでの違法伐採対策

- 2006年 グリーン購入法改正、林野庁「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」
 - 合法木材が公共調達要件となる → 近年では民間需要も拡大
- 2016年 **クリーンウッド法**制定（2017年より施行）
 - 全ての事業者に対し、木材等の利用にあたって、合法伐採木材等の利用の努力が義務づけられる
 - 木材関連事業者に対し、その具体的な処置として、合法性の確認が求められる

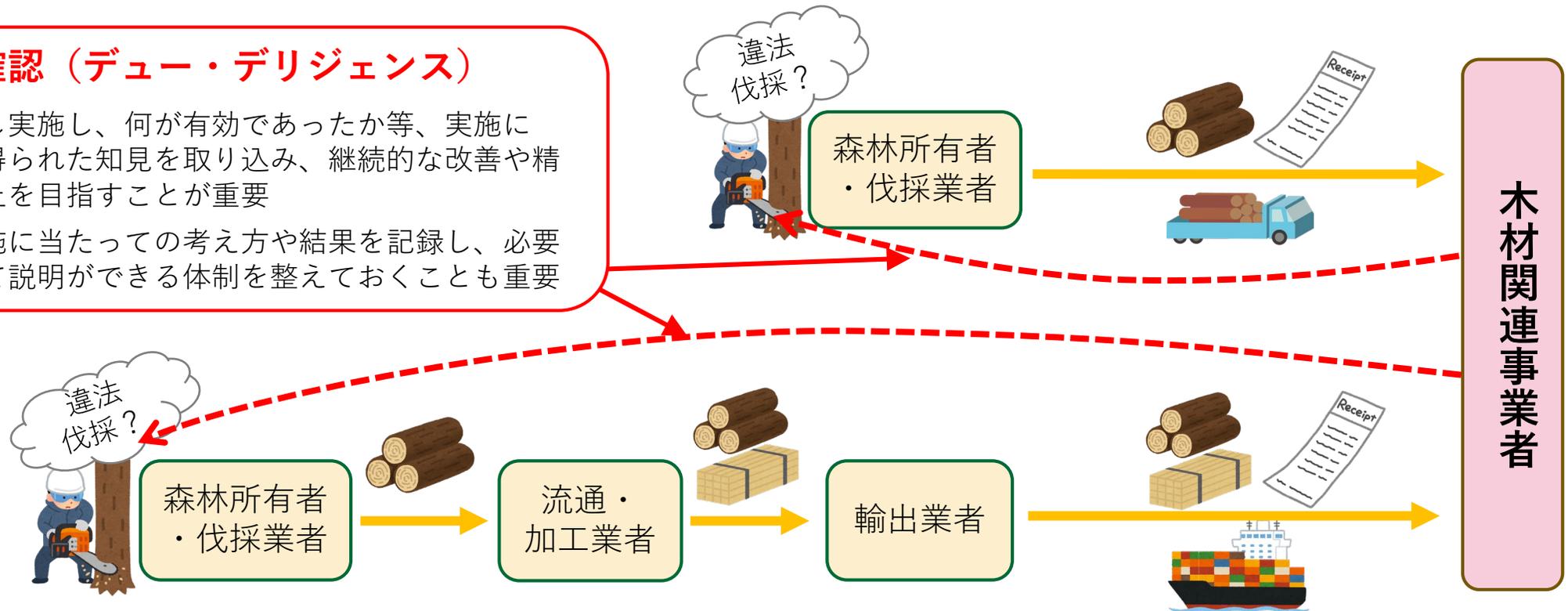
2. 木材等の合法性確認（デュー・デリジェンス）の意義

通常の商取引における書類確認（売買契約書、納品書等）だけでは、調達する木材等が**違法伐採由来である可能性（違法伐採リスク）**を十分排除しているとは言えない場合がある

- **合法性確認（デュー・デリジェンス）**が求められる
- 事業者の経営リスク管理や企業価値の向上にも重要

合法性確認（デュー・デリジェンス）

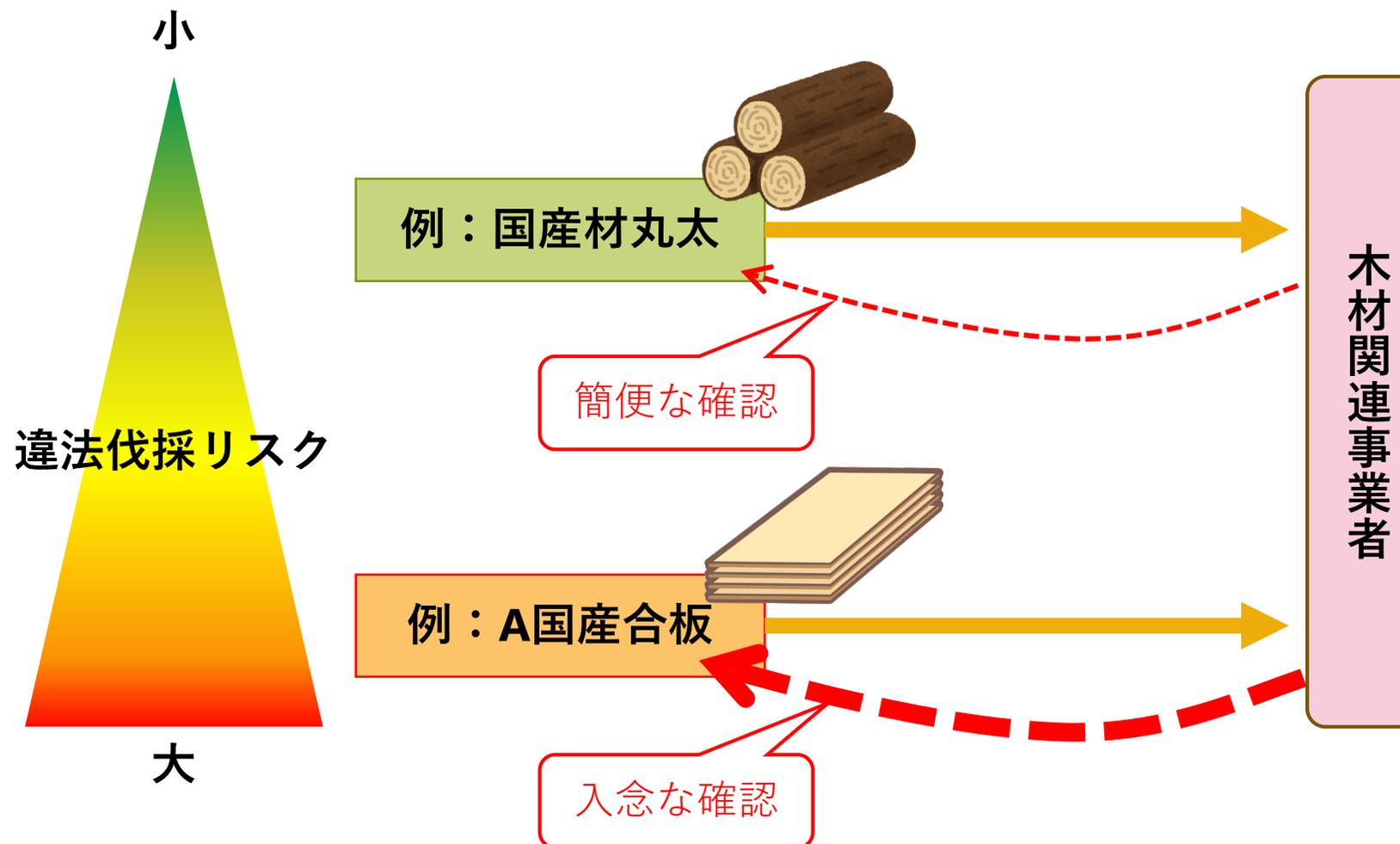
- 繰り返し実施し、何が有効であったか等、実施によって得られた知見を取り込み、継続的な改善や精度の向上を目指すことが重要
- 取組実施に当たっての考え方や結果を記録し、必要に応じて説明ができる体制を整えておくことも重要



3. リスクベースアプローチによる合法性確認の有効性

様々な木材等について同程度の合法性確認を行うのは非効率

→ 違法伐採リスクの大きさに応じた優先順位付けや、念入りな確認

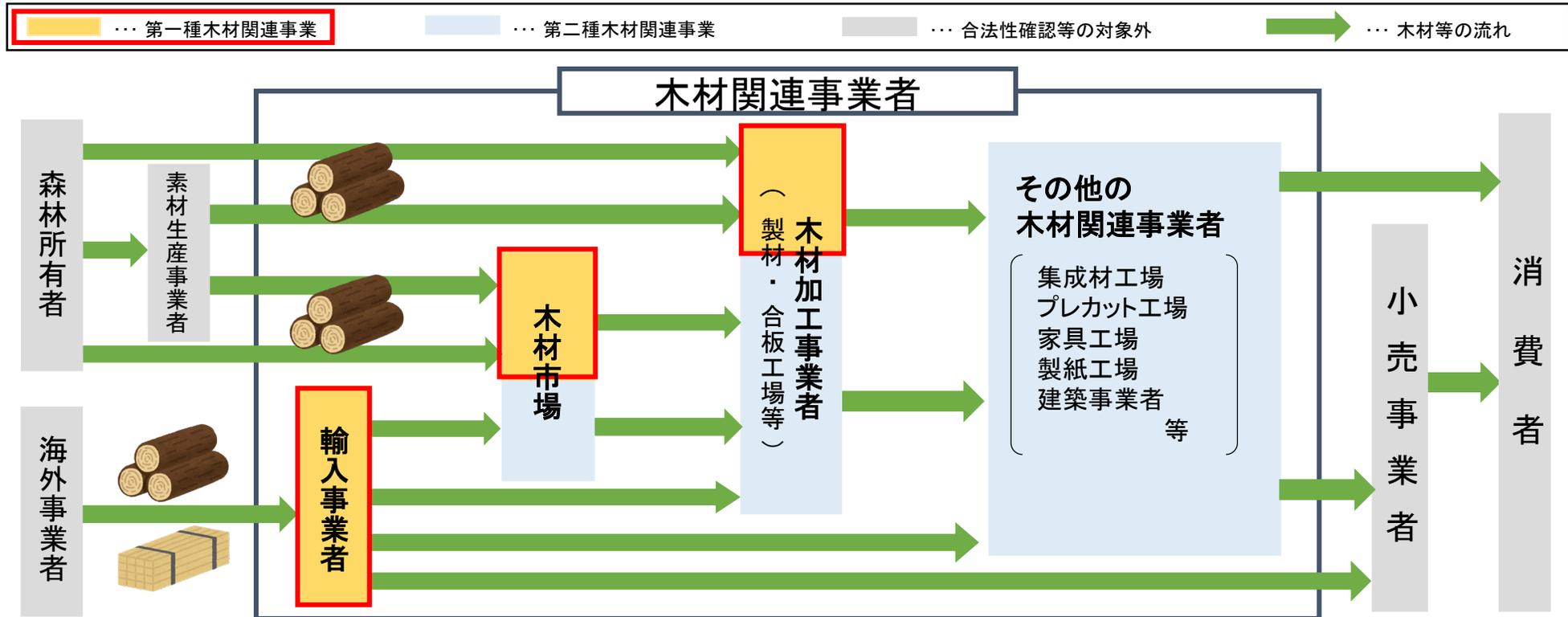


【実務編】

1. 本手引きの対象事業

● 第一種木材関連事業

- 国内の樹木の所有者から譲り受けた丸太の加工・輸出・販売、原木市場における委託販売
- 木材等（丸太や製品）の輸入



- それ以外の木材関連事業は「第二種木材関連事業」
- 単一の事業者が第一種、第二種の両方の事業を行っている場合も存在

2. 合法性確認 (デュー・デリジェンス) の手順

● リスクベースアプローチに基づく手順

● 手順1：書類の収集

● 手順2：書類の確認・リスク評価

→ リスクが無視できると評価したものは合法性が確認できたと判断

● 手順3：リスクが無視できないと評価したものに対するリスク緩和措置 (追加的情報収集とリスク再評価、又は取引回避)

【手順や評価項目を整理しておくメリット】

- 合法性確認の効率化
- 社内での業務標準化
- 調達先にどのような木材等が欲しいか明示できる
- 客観的に合法性確認をしていることを対外的に説明する根拠

⇒ 手引きでは手順や評価項目を例示、そのまま活用することも
ひな形として活用することも可能

クリーンウッド法における合法性確認手順フローチャート

手順1: 書類の収集

以下の情報が記載された書類や補足情報を収集 (調達先に対し提供を求める事項を**チェックリスト1**に例示)
 ア 木材の種類(品目)
 イ 原材料となっている樹木の樹種
 ウ 原材料となっている樹木が伐採された国又は地域
 エ 重量、面積、体積又は数量
 オ 原材料となっている樹木の所有者又は我が国に木材を輸出する者の氏名又は名称及び住所
 カ 原材料となっている樹木が我が国又は原産国の法令に適合して伐採されたことを証明する書類
 キ(任意) 調達した木材等や調達先に関する補足情報

手順2: 書類の確認【リスク評価】

(1) 書類の確認
 チェックリスト1を活用し、収集した手順1のア〜カの書類(全て揃わなくてもよい)、補足情報を確認
 (2) リスク評価 (確認事項を**チェックリスト2**に例示)
 チェックリスト2を活用し、手順1のア〜カの書類、国が提供する情報(クリーンウッド・ナビに掲載)、取引実績及び補足情報等について、以下の観点から、取り扱う木材等の違法伐採リスクを評価
 1. 総論
 2. 原産国となっている樹木が我が国又は伐採国の法令に適合して伐採されたことを証明する書類や情報
 3. 調達先に関する情報
 4. 樹木が伐採された国又は地域
 5. 原材料となっている樹木の樹種

リスクは無視できるレベルと評価

リスクは無視できないレベルと評価

手順3: リスク緩和措置

追加の情報収集・リスク再評価

取引回避

(1) 特定したリスクに関連する情報収集を実施
 (追加的な情報収集に係る事項を**チェックリスト3**に例示)
 (2) リスク再評価
 追加的に収集した情報に基づき、違法伐採リスクを再評価

リスクは無視できるレベルと評価

リスクは無視できないレベルと評価

合法性が確認できたと判断

合法性が確認できなかったと判断

記録の保存、販売先への書類提供

4. 手順1：書類の収集

- 調達先（国産材：樹木の所有者、輸入材：輸出者）に以下の事項が記載された書類の**提供**を求める

※ 一部しか収集できなかったとしても手順2に進む

- ア 法令に適合して伐採されたことを証明する書類
- イ 調達先の氏名、名称、住所
- ウ 伐採国又は地域
※調達先の国ではないこともあることに注意
- エ 樹種名
- オ 木材等の種類（品目）
- カ 重量、面積、体積、数量
- キ <任意>ア～カ以外で、合法性確認に役立つ補足情報：調達先の認証や認定、合法伐採木材等の供給に関する契約等

A 国内における樹木の伐採に係る法令に基づく行政手続き書類の詳細な例

※ 国内の行政手続き書類は上記の複数の事項が記載されている可能性があるため、A欄を活用することで書類収集の効率化が可能

チェックリスト1

木材等の合法性の確認のためのチェックリスト

記入日： 年 月 日

取引内容:		
取引相手:		
担当者:		
責任者:		
チェックリスト1 木材等の調達先に対し提供を求める事項		社内管理番号:
事項	収集した書類（該当するものを選択）	自由記載欄
ア 原材料となっている樹木が我が国又は原産国の法令に適合して伐採されたことを証明する書類	<input type="checkbox"/> 国内の行政手続き書類（事項A参照）	
	<input type="checkbox"/> 外国政府等が発行する伐採に関する許可書等の公的書類 その他（具体的に記載）:	
	<input type="checkbox"/>	
イ 原材料となっている樹木の所有者又はその木材の輸出者の氏名、名称、住所:	<input type="checkbox"/> 売買契約書	
	<input type="checkbox"/> 通関時に必要となる書類（仕入書（インボイス）等）	
	<input type="checkbox"/> 国内の行政手続き書類（事項A参照）	
	<input type="checkbox"/> 外国政府等が発行する伐採に関する許可書等の公的書類 その他（具体的に記載）:	
ウ 樹木が伐採された国又は地域:	<input type="checkbox"/> 通関時に必要となる書類（仕入書（インボイス）等）	
	<input type="checkbox"/> 国内の行政手続き書類（事項A参照）	
	<input type="checkbox"/> 外国政府等が発行する伐採に関する許可書等の公的書類	
	<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載）:	
エ 原材料となっている樹木の樹種名:	<input type="checkbox"/> 納品書	
	<input type="checkbox"/> 売買契約書	
	<input type="checkbox"/> 通関時に必要となる書類（仕入書（インボイス）等）	
	<input type="checkbox"/> 国内の行政手続き書類（事項A参照）	
	<input type="checkbox"/> 外国政府等が発行する伐採に関する許可書等の公的書類	
	<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載）:	
オ 木材等の種類（品目）:	<input type="checkbox"/> 納品書	
	<input type="checkbox"/> 売買契約書	
	<input type="checkbox"/> 通関時に必要となる書類（仕入書（インボイス）等）	
	<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載）:	
カ 重量、面積、体積、数量:	<input type="checkbox"/> 納品書	
	<input type="checkbox"/> 売買契約書	
	<input type="checkbox"/> 通関時に必要となる書類（仕入書（インボイス）等）	
	<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載）:	
キ 補足情報	<input type="checkbox"/> 第三者機関による認証の証明書等（森林認証、合法性検証等）	
	<input type="checkbox"/> 林野庁ガイドラインに基づく合法木材供給事業者認定書	
	<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載）:	
A 国内の行政手続き書類の詳細	<input type="checkbox"/> 伐採及び伐採後の造林の届出書（伐採造林届）（伐採届を受けて市町村から発出される適合通知書又は確認通知書を含む）	
	<input type="checkbox"/> 森林経営計画（森林経営計画の認定書を含む）	
	<input type="checkbox"/> 開発行為に係る許可の申請書及び許可書（いわゆる林地開発許可書）	
	<input type="checkbox"/> 保安林又は保安施設地区における立木の伐採に係る許可書及び許可決定通知書（保安林（保安施設地区）内立木伐採許可決定通知書 等）	
	<input type="checkbox"/> 国有林野事業に関する売買契約書	
	<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載）:	

チェックリスト1の使用法

枠あり : 基本的な使用方法

枠なし : より効果的な使用方法

木材等の合法性の確認のためのチェックリスト

記入日: _____

取引内容: _____
 取引相手: _____
 担当者: _____
 責任者: _____

当該事項について、記載のある書類をチェック

社内管理番号: _____

事項	収集した書類（該当するものを選択）	自由記載欄
ア 原材料となっている樹木が我が国又は原産国の法令に適合して伐採されたことを証明する書類	<input type="checkbox"/> 国内の行政手続書類（事項A参照）	
	<input type="checkbox"/> 外国政府等が発行する伐採に関する許可書等の公的書類	
	<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載）:	
イ 原材料となっている樹木の所有者又はその木材の輸出者の氏名、名称、住所:	<input type="checkbox"/> 売買契約書	
	<input type="checkbox"/> 通関時に必要となる書類（仕入書（インボイス）等）	
	<input type="checkbox"/> 国内の行政手続書類（事項A参照）	
	<input type="checkbox"/> 外国政府等が発行する伐採に関する許可書等の公的書類	
	<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載）:	
ウ 樹木が伐採された国又は地域:	<input type="checkbox"/> 通関時に必要となる書類（仕入書（インボイス）等）	
	<input type="checkbox"/> 国内の行政手続書類（事項A参照）	
	<input type="checkbox"/> 外国政府等が発行する伐採に関する許可書等の公的書類	
	<input type="checkbox"/> その他（具体的に記載）:	

当該事項について、記載のある書類の具体的な名称を記入

記載情報を記入

5. 手順2：書類の確認・リスク評価

- チェックリスト1で収集した書類の確認



- チェックリスト2を用いたリスク評価

20のリスク評価項目を設定

1. 総論
2. 法令に適合して伐採されたことを証明する書類や情報
3. 調達先の事業者
4. 伐採国又は地域
5. 樹種



- 総合的なリスク評価→合法性確認の判断

チェックリスト2

チェックリスト2 木材等の違法伐採リスク評価に係る確認事項				社内管理番号:		
No.	奇字は			確認内容	チェックリスト1の事項	自由記載欄
	大	中	小			
1 総論						
(1)	<input type="checkbox"/>			収集した全ての書類は、期限は有効、発行日は妥当なものです。	ア、キ	
(2)	<input type="checkbox"/>			調達する木材等の全量についての情報(合法性の証明、伐採国又は地域、樹種名)を把握できています	ア、イ、ウ、エ、カ、キ	
(3)		<input type="checkbox"/>		調達した木材等は、単一の材料できている又は組み合わせたものです。	オ	
(4)			<input type="checkbox"/>	調達する木材等の一部についての情報(合法性の証明、伐採国又は地域、樹種名)を把握できています	ア、イ、ウ、エ、カ、キ	
2 原材料となっている樹木が我が国又は伐採国の法令に適合して伐採されたことを証明する書類や情報						
(1)	<input type="checkbox"/>			調達した木材等について、原材料となっている樹木が我が国又は伐採国の法令に適合して伐採されたことを証明する公的機関が発行した書類を取得しています	ア	
(2)		<input type="checkbox"/>		調達した木材等について、森林認証(FSCやPEFC)や合法性検証等の第三者機関による認証等を受けた事業者からの合法性証明書を取得しています	ア	
(3)			<input type="checkbox"/>	調達した木材等について、林野庁ガイドライン(平成18年)に基づく合法木材供給事業者認定を受けた事業者からの合法性証明書を取得しています	ア	
(4)			<input type="checkbox"/>	伐採者が自主的に発行した、原材料となった樹木について法令に適合して伐採したことの証明書を取得しています	ア	
(5)			<input type="checkbox"/>	調達した木材等について、森林所有者や樹木の伐採を行った事業者から調達先までの取引関係を把握しています	キ	
3 調達先に関する情報						
(1)	<input type="checkbox"/>			調達先と「合法伐採木材等を供給する」旨の契約等を結んでいます	キ	
(2)		<input type="checkbox"/>		調達先とは取引実績があり、木材等の合法性に関し、これまで問題になったことはありません	キ	
(3)			<input type="checkbox"/>	調達先は、合法性に関する何らかの認証や検証等を取得していたり、認定等を受けている事業者です	キ	
(4)			<input type="checkbox"/>	調達先の事業者は、木材等の合法性に関する自己宣言や、取組についての報告等を公表しています	キ	
4 原材料となっている樹木が伐採された国又は地域						
(1)	<input type="checkbox"/>			伐採国は汚職・腐敗が行われている可能性が低く、かつ、違法伐採対策に関する法令が整備されています	ウ	
(2)		<input type="checkbox"/>		伐採国又は地域において、違法伐採や違法行為等の報道はありません	ウ	
5 原材料となっている樹木の樹種						
(1)	<input type="checkbox"/>			調達した木材等の原材料の樹木について、樹種名を把握しています	エ、キ	
(2)		<input type="checkbox"/>		調達した木材等の樹種に関し、範囲が明確な総称を把握しています	エ、キ	
(3)			<input type="checkbox"/>	調達した木材等の樹種は、記載された伐採国又は地域に分布するものであり、かつ、当該国又は地域において伐採や取引の禁止対象となっている樹種は含まれていません	ウ、エ	
(4)			<input type="checkbox"/>	権林木/人工林由来の木材のみが原材料として使われています	キ	
(5)			<input type="checkbox"/>	伐採国又は地域において違法伐採事例が知られている樹種は含まれていません	ウ、エ	
上記の確認により、違法伐採リスクは無視できるレベルと評価し、合法性が確認できたと判断できましたか？						
	<input type="checkbox"/>			違法伐採リスクは無視できるレベルと評価し、合法性が確認できたと判断しました		
	<input type="checkbox"/>			違法伐採リスクは無視できないレベルと評価し、合法性が確認できなかったと判断しました →【チェックリスト3】へ		

チェックリスト2の使用法①

枠あり : 基本的な使用方法

枠なし : より効果的な使用方法

枠なし : 解説

自由記載欄

低リスク評価寄与度を3段階に設定

該当する項目にチェック

チェックした根拠を記入

入れ子構造：低リスク評価寄与度の上位の項目が確認できれば、下位の項目は省略可能

チェックリスト2 木材等の違法伐採リスク評価に係る確認事項

「低リスク評価寄与度」の上位の項目が確認できれば、下位の項目の確認は省略可能です。

No.	低リスク評価寄与度			確認内容	チェックリスト1の事項	自由記載欄
	大	中	小			
1 総論						
	<input type="checkbox"/>			収集した全ての書類は、期限は有効、発行日は妥当なものです。	ア、キ	
(2)	<input type="checkbox"/>			調達する木材等の全量についての情報(合法性の証明、伐採国又は地域、樹種名)を把握できています	ア、イ、ウ、エ、カ、キ	
(3)		<input type="checkbox"/>		調達した木材等は、単一の材料でできている又は組み合わせたものです。	オ	
(4)			<input type="checkbox"/>	調達する木材等の一部についての情報(合法性の証明、伐採国又は地域、樹種名)を把握できています	ア、イ、ウ、エ、カ、キ	
2 原材料となっている樹木が我が国又は伐採国の法令に適合して伐採されたことを証明する書類や情報						
(1)	<input type="checkbox"/>			調達した木材等について、原材料となっている樹木が我が国又は伐採国の法令に適合して伐採されたことを証明する公的機関が発行した書類を取得しています	ア	
(2)		<input type="checkbox"/>		調達した木材等について、森林認証(FSCやPEFC)や合法性検証等の第三者機関による認証等を受けた事業者からの合法性証明書を取得しています	ア	
(3)			<input type="checkbox"/>	調達した木材等について、林野庁ガイドライン(平成18年)に基づく合法木材供給事業者認定を受けた事業者からの合法性証明書を取得しています	ア	
(4)			<input type="checkbox"/>	伐採者が自主的に発行した、原材料となった樹木について法令に適合して伐採したことの証明書を取得しています	ア	
(5)			<input type="checkbox"/>	調達した木材等について、森林所有者や樹木の伐採を行った事業者から調達先までの取引関係が確認されています	キ	

チェックリスト2の使用法②

枠なし : 項目の解説

No.	低リスク評価 寄与度			チェックリスト1の 事項	自由記載欄
	大	中	小		
1 総論					
(1)	<input type="checkbox"/>	収集した全ての書類は、期限は有効、発行日は妥当なものです。		ア、キ	<p>公的機関が発行した書類の他、森林認証や林野庁ガイドラインに基づき事業者が発行した合法性証明書等も、法令に適合して伐採されたことを証明する書類とみなせます。</p> <p>※ただし公的な証明書も含め、証明書のみで合法性が確認できたと自動的に判断できるわけではなく、他の確認項目も勘案して総合的に判断することが求められます。</p> <p>※事業者に対する認証や認定ではないことに注意</p>
(2)	<input type="checkbox"/>	調達する木材等の全量についての情報(合法性の証明、伐採国又は地域、樹種名)を把握できています		ア、イ、ウ、エ、カ、キ	
(3)	<input type="checkbox"/>	調達した木材等は、単一の材料でできている又は組み合わせたものです。		オ	
(4)	<input type="checkbox"/>	調達する木材等の一部についての情報(合法性の証明、伐採国又は地域、樹種名)を把握できています		ア、イ、ウ、エ、カ、キ	
2 原材料となっている樹木が我が国又は伐採国の法令に適合して伐採されたことを証明する書類や情報					
(1)	<input type="checkbox"/>	調達した木材等について、原材料となっている樹木が我が国又は伐採国の法令に適合して伐採されたことを証明する公的機関が発行した書類を取得しています		ア	<p>伐採地から調達先までの取引関係の情報の把握も低リスク評価に寄与</p>
(2)	<input type="checkbox"/>	調達した木材等について、森林認証(FSCやPEFC)や合法性検証等の第三者機関による認証等を受けた事業者からの合法性証明書を取得しています		ア	
(3)	<input type="checkbox"/>	調達した木材等について、林野庁ガイドライン(平成18年)に基づく合法木材供給事業者認定を受けた事業者からの合法性証明書を取得しています		ア	
(4)	<input type="checkbox"/>	伐採者が自主的に発行した、原材料となった樹木について法令に適合して伐採したことの証明書を取得しています		ア	
(5)	<input type="checkbox"/>	調達した木材等について、森林所有者や樹木の伐採を行った事業者から調達先までの取引関係を把握しています		キ	

確認内容
丸太、製材、単板、単一の材料
できている集成材等が該当

チェックリスト2の使用法③

3 調達先に関する情報

(1)	<input type="checkbox"/>	調達先と「合法伐採木材等を供給する」旨の契約等を結んでいます	キ
(2)	<input type="checkbox"/>	調達先とは取引実績があり、木材等の合法性に関し、これまで問題になったことはありません	キ
(3)	<input type="checkbox"/>	調達先は、合法性に関する何らかの認証や検証等を取得していたり、認定等を受けている事業者です	キ
(4)	<input type="checkbox"/>	調達先の事業者は、木材等の合法性に関する自己宣言や、取組についての報告等を公表しています	キ

森林認証や合法木材供給事業者認定等

トランスペアレンシー・インターナショナルなどの公表している指数などが参考になる

4 原材料となっている樹木が伐採された国又は地域

(1)	<input type="checkbox"/>	伐採国は汚職・腐敗が行われている可能性が低く、かつ、違法伐採対策に関する法令が整備されています	ウ
(2)	<input type="checkbox"/>	伐採国又は地域において、違法伐採や違法行為等の報道はありません	ウ

我が国ではクリーンウッド法が相当、海外についてはクリーンウッド・ナビに情報あり

5 原材料となっている樹木の樹種

樹木の種や属を把握している

(1)	<input type="checkbox"/>	調達した木材等の原材料の樹木について、樹種名を把握しています	エ、キ
(2)	<input type="checkbox"/>	調達した木材等の樹種に関し、範囲が明確な総称を把握しています	エ、キ
(3)	<input type="checkbox"/>	調達した木材等の樹種は、記載された伐採国又は地域に分布するものであり、かつ、当該国又は地域において伐採や取引の禁止対象となっている樹種は含まれていません	ウ、エ
(4)	<input type="checkbox"/>	植林木／人工林由来の木材のみが原材料として使われています	キ
(5)	<input type="checkbox"/>	伐採国又は地域において違法伐採事例が知られている樹種は含まれていません	ウ、エ

「SPF」や国産材における「その他広葉樹」等、生物学的には複数の属を含むが、範囲が明確なもの
※ 商品名のみしか明らかでない場合があることに注意

樹種によっては植林木と天然木で違法伐採リスクが大きく異なる
(チーク、マホガニー等)

チェックリスト2の使用法④

枠あり : 基本的な使用方法

枠なし : より効果的な使用方法

上記の確認により、違法伐採リスクは無視できるレベルと評価し、合法性が確認できたと判断できましたか？	
<input type="checkbox"/>	違法伐採リスクは無視できるレベルと評価し、合法性が確認できたと判断しました
<input type="checkbox"/>	違法伐採リスクは無視できないレベルと評価し、合法性が確認できなかったと判断しました → 【チェックリスト3】へ

大項目1～5の結果から、事業者自身が評価・判断を行う
※事業者自身が判断基準を設けることも考えられる

評価・判断を行った理由を記入

6. 手順3：リスク緩和措置 (追加的情報収集とリスク再評価、又は取引回避)

チェックリスト2において違法伐採リスクが無視できないと評価したもののみを行う

- チェックリスト3を用いた**追加的情報収集・合法性確認の再判断**

【追加の情報収集の内容（例）】

- 取引関係者に関する情報
- 調達する木材そのものに関する情報
- その他の情報（※ 手順1で収集した情報の精査や、収集できなかった情報の再収集を含む）

- **取引回避**

チェックリスト3

チェックリスト2 リスク緩和措置に係る追加的な情報収集事項		社内管理番号:	
内容	チェックリスト2の項目番号 (No.)	自由記載欄	
1 取引関係者について			
(1) <input type="checkbox"/> 直接の調達先やさらに川上の事業者、樹木の所有者等に追加情報を求める	2, 3, 4, 5		
(2) <input type="checkbox"/> 同業他社、専門家、研究機関、市民団体等に問い合わせる			
(3) <input type="checkbox"/> 調達先や伐採を担う事業者が過去に問題を起こしたことはないか、政府機関や地方自治体に対して照会する			
2 調達する木材そのものについて			
(1) <input type="checkbox"/> 木材の目視を行う	4, 5		
(2) <input type="checkbox"/> 木材の組織観察を行う			
(3) <input type="checkbox"/> 木材のDNA分析を行う			
(4) <input type="checkbox"/> 木材の安定同位体分析を行う			
3 その他の情報について ※手順1で収集した情報の精査や、収集できなかった情報の再収集を含む			
(1) <input type="checkbox"/> 問い合わせや訪問調査を行う	1, 2, 4, 5		
(2) <input type="checkbox"/> 伐採地の衛星データ等を確認する			
(3) <input type="checkbox"/> 証明書等に記載されている政府機関や地方自治体に対し、実際に届出が行われた又は当該政府機関等が発行した書類であるかどうかや、伐採地の状況等を照会する			
(4) <input type="checkbox"/> その他（具体的に記載）:	-		
上記の確認により、違法伐採リスクは無視できるレベルと評価し、合法性が確認できたか？	<input type="checkbox"/>	違法伐採リスクは無視できるレベルと評価し、合法性が確認できたと判断しました	
	<input type="checkbox"/>	違法伐採リスクは無視できないレベルと評価し、合法性が確認できなかったと判断しました	

チェックリスト3の使用方法①

- 枠あり** : 基本的な使用方法
- 枠なし** : より効果的な使用方法
- 枠なし** : 項目の解説

実施した方法
をチェック

追加の情報収集の内容		チェックリスト2の 項目番号 (No.)	自由記載欄
1	取引関係者について		
(1)	<input type="checkbox"/> 直接の調達先やさらに川上の事業者、樹木の所有者等に追加情報を求める	2, 3, 4, 5	
(2)	<input type="checkbox"/> 同業他社、専門家、研究機関、市民団体等に問い合わせる		
(3)	<input type="checkbox"/> 調達先や伐採を担う事業者が過去に問題を起こしたことはないか、政府機関や地方自治体に対して照会する		
2	調達する木材そのものについて		
(1)	<input type="checkbox"/> 木材の目視を行う	4, 5	
(2)	<input type="checkbox"/> 木材の組織観察を行う		
(3)	<input type="checkbox"/> 木材のDNA分析を行う		
(4)	<input type="checkbox"/> 木材の安定同位体分析を行う		
3	その他の情報について ※手順1で収集した情報の精査や、収集できなかった情報の再収集を含む		
(1)	<input type="checkbox"/> 問い合わせや訪問調査を行う	1, 2, 4, 5	
(2)	<input type="checkbox"/> 伐採地の衛星データ等を確認する		
(3)	<input type="checkbox"/> 証明書等に記載されている政府機関や地方自治体に対し、実際に届出が行われた又は当該政府機関等が発行した書類であるかどうか、伐採地の状況等を照会する		
	その他(自体的に記載)		

取引関係者に関する
追加情報を収集

樹種や伐採国の直接確認

以下の情報を記入

- 具体的な収集方法
- 収集した情報の内容
- 追加情報に基づくリスク評価
(必要に応じて外部情報も活用)

取引先や同業他社、専門家、研究機関、市民団体等に対する問い合わせや確認

チェックリスト3の使用法②

枠あり : 基本的な使用方法

枠なし : より効果的な使用方法

(4)	<input type="checkbox"/>	他(具体的に記載)	-
上記の確認により、違法伐採リスクは無視できるレベルと評価し、合法性が確認できたか？	<input type="checkbox"/> 違法伐採リスクは無視できるレベルと評価し、合法性が確認できた <input type="checkbox"/> 違法伐採リスクは無視できないレベルと評価し、合法性が確認できなかった		

再評価・判断を行った理由を記入

追加的情報収集の結果から、事業者自身がリスク再評価・合法性確認の再判断を行う
 ※事業者自身が判断基準を設けることなども考えられる

【手引きの活用に向けて】

- チェックリストの詳細については有識者・専門家でも様々な意見
 - チェックリスト2のリスク評価項目、「低リスク評価寄与度」や入れ子構造の設定
 - チェックリスト3の構造
 - 手引きの活用にあたって
 - 今回の手引きは唯一絶対のものではない
 - 自社の状況や世の中の変化に合わせて、リスク評価項目や、どれを重視するか等を見直していくことが重要
 - 合法性確認の継続を通じて、精度の向上を図っていく（PDCAを回す）ことが重要
- ⇒ 手引きをきっかけに、各事業体・業界が、自分なりのデュー・デリ
ジェンスに取り組んでいただくことを期待

【参考】林野庁情報サイト「クリーンウッド・ナビ」

(<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/goho/index.html>)



- クリーンウッド法の制度解説、登録木材関連事業者に関する登録の方法・登録事業者一覧、合法性確認の方法等に関する手引・Q&A、分かりやすい動画等を発信。
- 国別情報として、35の国や地域（令和4年12月現在）について、木材等の生産及び流通の状況、合法伐採木材等に関連する法令や手続、合法性の確認に活用できる書類の事例等を掲載。
- 登録木材関連事業者による合法伐採木材等の確認等の先進事例を掲載。